

令和6年9月30日 5・6年生 合同授業 スクールロイヤー（森田弁護士）による出前授業 『いじめについて考えよう』



いじめられている
人のために何が
できるだろう？

いじめとは
何だろう？

人権って
何だろう？

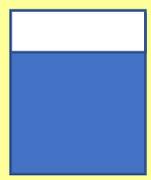


【森田弁護士より】 いじめとは何か？
相手がいやだと思ったら、いじめにあたる。
 ・ 例えばテストの点数を「すごい」と褒めたのに、相手が、みんなに聞かれて、恥ずかしいから嫌だと感じたなら、それもいじめにあたります。

【森田弁護士より】 「こころのコップ」の話
 ・ 誰かがいじめを受けて学校に来れなくなったら、それは、「こころのコップ」がいっぱいになり、あふれてしまったからです。こころのコップは1年生の頃から溜まってきているかもしれません。
 ・ **みなさんはこころのコップの水を減らすために、どんなことができますか？**

【児童より質問】
 ・ 「いじめをゼロにする」と「いじめを防止する」という考えがあるが、どちらが正しいですか。
【森田弁護士より】
 ・ 子供たちは、悪気無く、知らない間に相手を傷つけていることが多い。そのため、**いじめをゼロにすることは、とても難しいことである。**大切なのは、「**相手が傷ついているかを考えること**」「**自分ができていることを試みること**」です。みんながそうすれば、いじめをゼロに近づけていくことができると思います。

こころのコップ
 いやなことがあると、コップに水がたまります。



こころのコップが一杯になりあふれ出た子は学校に行けなくなったりしてしまいます。

学校より
 今回の授業を通し、いじめについて、子供たちと共に考えることができました。いじめはどんな理由があっても決して許されない行為ではありますが、どの学級でも起こりうることです。本校では、「いじめを見逃さないこと」「組織的に取り組むこと」「いじめを許さない学級づくりをすること」等に重点をおいて今後も取り組んでいきます。また、森田弁護士の講義を受け、いじめとして認知するきっかけになる、一つの行為だけに固執せず、これまであったことに目を向けるとともに、お互いの「こころのコップ」についても考えることが大切だと感じました。「自分ができていることは何だろう」と考える人が増えていくことが、いじめの根絶につながると信じ、学校全体でいじめ問題に向け取り組んでいきます。